

めいほうこども像	中学校区	学校や地域を愛し、賢く強く生きる子ども			<b>笑顔であいさつ 日本一</b>		
	中学校区課題	○既習内容を活用したり、他の文章と比較したりしながら論理的に考えていく力に課題がある。 ○結論先行型で根拠をあげて自分の考えを述べたり書いたりする力が十分とは言えない。					
	研究主題	「互いを尊重しながら主体的に学び合い、しっかりと表現する子どもの育成」 ～聴いて、考えて、つなぐ授業の創造～					
	付ける力	《ESDの2観点》○ 人格の発達や、自律心、判断力、責任感等の人間性を育む。 ○ 「他人・社会・自然環境」との関係性を認識し、「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育む。 《本校区で付ける力》 ● 地域を愛する心 ● 夢をかなえる学力 ● 強く生きる心と体					
	研究の視点	課題発見解決学習			伝え合う活動（思考）		
授業のVSA	期	前期Ⅰ(小学校1・2年)	前期Ⅱ(小学校3・4年)	中期(小学校5・6年, 中学校1年)		後期(中学校2・3年)	
	発達段階	自己肯定感・自己有能感が大変優勢であり、自尊感情も、愛情優先で高く育まれる時期である。		自我同一性が芽生え、理想と現実の狭間で、育まれてきた自尊感情も低下傾向を示す。思春期特有の心理的不安も見られ、いわゆる自分探しの時期である。		思春期も後期となり、理想と現実の自分がある程度客観視でき、自己概念、アイデンティティもほぼ確立し、自己選択・決定・実現を図れるようになる時期である。	
	学びの段階	基本となることからを、繰り返し反復しながら習得させ、確実に定着させる時期である。		身につけた基礎となることからを、様々な場面で活用しながら定着させていく時期である。		基礎基本となることからをもとにして、自らの課題に応用しながら自己実現を図る時期である。	
	授業規律	着席点検	○チャイム着席 ○チャイム前着席 ○各自が授業前に忘れ物を先生に報告。		○学習係が授業前に忘れ物点検を行い、点検表を先生に提出。		
		号令	「姿勢。これから〇〇の学習を始めます。」 「はい。」「礼。」「お願いします。」		「起立。これから〇〇の授業を始めます。」 「はい。」「気をつけ。礼。」「お願いします。」		
	ノート	○「めあて」をノートに書き写し、赤で囲む。 ○学習係が本時の「めあて」を発表する。		○「めあて」をノートに書き写し、赤で囲む。 ○学習係が学習内容のまとめを言う。○「振り返り」を書く。		○「ねらい」をノートに青で書き写し、囲む。 ○学習係が本時の「ねらい」を発表する。	
		○「まとめ」をノートに書き写し、赤で囲む。 ○学習係が学習内容のまとめを言う。○「振り返り」を書く。		○振り返りを書く。		○学習の「ふりかえり」を青で書き、囲む。 ○教科係が学習内容のまとめを報告する。	
	声	○2BかBの鉛筆を使う。 ○2BかBかHBの鉛筆を使う。					
	課題発見解決学習	導入	○課題を発見する。 ★前時違い、事象のずれ、視覚的支援などを通して、知的好奇心の喚起をする。				
		展開	○「自分の考え」を持つ。★構造的板書、発問の工夫 書く、調べる、分析する、体験する、比較する、話し合う、実験する、関連付ける、分類する、説明する、整理する				
○自分の考えを書く。			○友達の考えを書く。				
○「つなぎ言葉」を使って、仲間の意見とつながり、思考を深めたり、広げたりする。 ★児童・生徒が考えを深め、価値づける切り返し、揺さぶり発問を工夫する。							
終末		○反応しながら聴く。 ★形式的な反応にならないようにする。 ★ペア、グループ、プレゼンなど発表の形態を工夫し、主体的な聴き方ができるようにする。		○板書を正しく写す。 ○「つなぎ発言」によって出された仲間の考えの良さ、自分の考えとの違いをノートに書く。 ○大切なことをメモする。			
評価等	○「めあて」に対する「まとめ」にする。					○「ねらい」に対する「まとめ」にする。	
	○ 学習規律教師アンケート（5月、12月）を作成、実施し、80%以上の肯定的評価を得る。 ◇ 小中合同授業研究授業を行い、研究の視点に沿い、研究協議を行う。					共通掲示物	

